

11 行動を起こす

取組事例

50

森林の有効活用と意識改革

～ 令和6年度 みえ高校生県議会における提案 ～

三重県立伊勢高等学校 高校2年生



みえ高校生県議会で三重県の森林の課題解決に向けた質問をしている様子

実施時期	令和6年8月
実施場所	三重県議会議事堂
時間	事前説明会（6月上旬）約1時間 事前相談会（6月下旬）約1時間30分 本番（8月21日）約5時間 ※1校当たりの持ち時間15分 フィードバック（2月上旬）約30分
対象・人数	全体：高校生34人（11校） 伊勢高等学校より2人参加
備考	県議会事業 「みえ高校生県議会」とは、高校生が県議会で高校生議員として、県政に関する質問を行い、県議会議員が答弁を行うもの。2年に1回開催。

めざす姿

11 行動を起こす（03興味・関心を持つ、06知識・技能を身に付ける、08地域の課題に目を向ける、09地球の課題に目を向ける、10課題解決への参画）

ねらい

みえ高校生県議会で、森林資源の有効利用と意識改革の必要性と、その課題解決に向けた提案をする

内容

6月上旬 事前説明会
・県議会の仕組みや役割について学ぶ
・議会や議員の仕事について、県議会議員と意見交換する
→説明会后 質問の原稿作成のための調査や情報収集をする

6月下旬 事前相談会
・参加生徒が作成した質問に対して、議員からアドバイスを受ける
・分かりやすく、より自分の意見に共感してもらうための手法を学ぶ
→相談会后 質問の原稿をブラッシュアップする

8月21日 みえ高校生県議会当日
・高校生が県議会の議場で質問を行い、県議会議員が答弁を行う

2月上旬 フィードバック
・高校生議員からの質問や提案についての議会での議論の状況を議員から聞く

参加生徒の反応

- ・森林の働きは地球環境の課題にも関係していて、森林を守ることで、たくさんの森林の働きが発揮されることが分かったし、地域の活性化や住みやすい地域づくりにつながると感じた。
- ・森林・林業にはいろんな課題があり、国や県がその課題解決のために様々な取組をしていることが分かった。
- ・森林のことを調べることで、木材を利用することが森林を守ることになるなど、新しい発見があったので、改めて身近な海の課題についても調べたいと思った。
- ・森林のことを調べる活動を通じて、「森林について知らない」ことが課題であることを知れた。
- ・森林や林業の情報はたくさんあるけれども、その情報にたどり着くことが困難で、調べに時間がかかった。

先生のコメント

- ・事前説明会・事前相談会で、県議会議員から直接アドバイスをいただき、大人の視点で森林・林業の課題について考えることができ、深い学びにつながったと思う。
- ・高校生活の中で、森林に目を向ける機会が少ないので、この機会に、他の生徒にも森林・林業の課題や、それに対する行政の取組を知り、森林の課題が環境問題や社会問題にも関連していることを学べる機会を設けたい。

事前説明会

県議会議員との意見交換の様子



県議会の仕組みや役割について説明を受けている様子



知る

考える

三重県の森林や林業の現況を調べ、その課題を分析するとともに、県行政の取組について調査し、県議会に対する質問と課題解決に向けた新たな取組について考える

事前相談会

県議会議員からアドバイスを受ける様子



作成した質問の原稿内容を確認している様子



知る

考える

県議会議員からの「行政では考えられないようなアイデアを考えてごらん」などといったアドバイスを基に、課題を「森林に親しみを持つこと」に設定し、質問の原稿をブラッシュアップする。

本番

森林の有効活用と意識改革について質問している様子

行動する

みえ高校生県議会の参加者による集合写真



フィードバック

県議会議員からフィードバックの説明を受けている様子

知る



おしまい